



<事業主題> 新しい風に愛をこめて！

メネットらしい発想から生まれ、愛をもって活動するメネット事業を通して、ワイズダムへ新たな風を送ろう！

2019-2020 年度メネット事業主任 大野 勉 (神戸ポートクラブ)

京都部メネットと女性メンバーの集い@京都ホテルオークラ

9月1日(土)の京都部会の前には開催された集いでは、メネットおよびメネット事業のあり方について、真剣にかつ和やかに討議されました。そして、すばらしい報告にまとめていただきました。ここに掲載させていただきます。

ディスカッションまとめ

京都部メネット事業主査 岩本 敬子(京都ウエストクラブ)



① これまでのメネット (事業) を振り返って

- ・入会式にかつてはメンにメンのバッジ、メネットにはメネットのバッジを装着する儀式があり良かった。
- ・メネット、コメネットを含め、家族で活動できるクラブの雰囲気があった。
- ・役を引き受けて大変なこともあったが、出会いも多く世界が広がった。
- ・昔は、メネットさんの参加が多かった。

② メネットであるメリット、デメリット

<メリット>

- ・メンと同じように活動しているので、メンになる必要がない。
- ・夫婦でメンバーだと会費やその他の費用も全て2倍掛かって負担であるため、メネットにいる方が経済的である。
- ・メネットの間で情報を教えてもらえる。
- ・例会に参加するとメンバーに歓迎してもらえる。

<デメリット>

- ・メネットのままでは活動に限界がある。
(メンバーになった方がやりたいことが実現できる)
- ・メネットは便利使いされているのか嫌と感じる。

③ メネットがメンバーにならないのは何故か？

- ・子育てや家庭の事情により、女性が活躍できるのは時期にもよると思う為。
- ・女性メンバーのようにパワフルにはっきり物事を言えないことがある為。

④ ワイズ組織におけるメネットの役職の存続について

<NO>

- ・世の中も変わったので、メネット主査など役職は無くてもよいと思う。
- ・成り手がなくて仕方なくメンがしているようでは意味がない。

- ・役を引き受ける事に重荷を感じられ、メネット主査の成り手がいないことにいつも頭を悩ませる。

<YES>

- ・今あるメネットという枠組みや縛りがなくなると、メネットが逆にワイズに出て来なくなるのではないのか？形式は存続し、メネットが出てきやすい例会の在り方を考える方が必要である。

⑤ メネット事業の存続について

<NO>

- ・メネット事業はテーマが毎年変わり、ハードで負担が大きく、無くてもよいと思う。
- ・現状では活動しやすい環境にないためできない。

<YES>

- ・今までのように何か大きなプロジェクトをしたり献金を集めたりという事でなく、もっとメネットのワイズ行事への参加率を高めるような工夫をすればどうか？メネット事業の一環として、メネット出席率の統計を取り、西日本区でのメネット例会出席率〇%などの表彰対象とすること等。

⑥ 現状の問題点

- ・なぜ、メンは自分のメネットを例会に誘いにくいのか？
- ・ワイズの情報がメネットに届かない。メネットへの声掛けに配慮が行われていない。
- ・メネットが、男性ばかりのところにいって行くのは難しい (メネットが参加できる機会が少ない)。
- ・メンが理解不足 (メネットが例会に来てくてもクラブに馴染まないだろうと思い込んでいる)。
- ・決まった人しか出席せず、何をしているか知らないのでは？

⑦ これからできること

- ・LGBTにも配慮し、ジェンダーの固定観念にとらわれないことが時代の流れであると思うので、それらも視野に入れて検討を行う。

⑧ 西日本区メネット事業主任に提案すること

- ・メネットの定義を見直す必要があるのでは？
- ・現状「ワイズメンの夫人」だと法律上の配偶者に限定されているイメージが感じられるが、今後婚姻の形態が多様化されることや女性メンバーが増えている現状も視野に入れ、表現を見直すべきでないか？
- ・特別メネットのロースター用語集No.65の解釈をもっとわかりやすく。
- ・メネット例会出席率も西日本区の表彰対象にしてはどうか？ (メネット例会出席率の算定は現ロースターの定義に基づき、女性メンバー、独身男メンバーを除いたものを分母する)
- ・上記⑥現状の問題点についてより深く検討が必要では？ (例えばアンケートを取る)

※貴重なご意見、ありがとうございました。